

外務大臣賞受賞 表敬訪問

昨年度開催された「第68回国際理解・国際協力のための主張コンクール」において、本校3年生の高須栞梨さんが特賞の外務大臣賞を受賞しました。受賞した4名で行われる予定であったニューヨークにある国連本部の視察は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、代わりに行われた東京訪問プログラムに参加し、国連について学習する機会をいただきました。

また、今回の受賞を受けて、愛知県教育委員会に表敬訪問をさせていただき、愛知県教育委員会事務局長様をはじめ、多くの職員の皆様から祝辞をいただきました。



受賞した高須さん

授業の一環として取り組んだ主張コンクールへの応募をきっかけに、食品ロスなどの地球的課題への意識が大きく変わったと思います。今回、このような賞をいただいて、うれしいという気持ちもありますが、私自身まだまだ世界の現状について知らないことばかりで、もっと勉強していかなければならないと思っています。今後も、これを機に新たな気持ちで精進していきたいです。



高須栞梨さん

校長より

高須栞梨さん、外務大臣賞おめでとうございます。受賞者は、米国ニューヨークの国連本部への視察に派遣されるという形で高く評価されています。東京研修への派遣に変更にはなりませんが、参加者から多くの刺激を受け、一層勉強の必要性を感じたようです。今後の活躍を祈念しています。

また、高須さんは国際理解コースの生徒として一つの道を切り拓いてくれました。後輩たちが、追いつけ追い越せの気持ちで成長してくれると信じています。



小川芳範 校長

高須さんの作品はこちら

「日本における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、私たちが国連とできること。-「いただきます」、『ごちそうさまでした』を世界共通語に-」

<http://www.unaj.or.jp/concours/c68.html#p1>

第68回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール

◆主催◆ 外務省、公益財団法人日本国際連合協会

◆趣旨◆

高等学校生徒に対し、国際連合についての主張を通して、国際理解・国際協力について考える機会を提供すること。

◆テーマ◆

1.日本や日本人は、国連を始めとする多国間主義の外交を通じて、どのようにリーダーシップを発揮できるか。

2.日本における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、私たちが国連とできること。

3.もし私が世界の問題を一つだけ解決できる立場にあったら、何を達成し、どのような世界にしたいか。

上記のうちいずれかひとつ

◆賞◆

・特賞（4篇） 外務大臣賞、文部科学大臣賞、法務大臣賞、公益財団法人日本国際連合協会会長賞
・優秀賞（6篇）